

市長が市内各地で農作物作況視察を実施



9月3日、荻原市長は農業関係者と市内各地で農作物の作況を視察しました。

野花南町で花卉栽培を営む開米俊裕さん＝写真左＝は、紫色のリンドウやカスミソウを栽培。カスミソウは順調に出荷できていて、栽培3年目のリンドウは色、長さとも市場から好評を得ていますと、説明。

上芦別で水稲を栽培している櫻田浩生さんは、高温障害など心配していたが、穂は綺麗に出そろっていて生育も早め、とのこと。

本町のJA集荷場では、カボチャは例年より大玉が入荷などの説明。

常磐町の山崎直人さんの水田では農業用の最新ドローンで農薬散布のデモを行い喝采を浴びていました。

体験から学ぶ「水辺の安全教室」を開催

9月5日、市内B&G海洋センターで「2020 B&G クリーンフェスティバルinあしべつ」を開催。

これは、水に親しみ環境保全意識を高めてもらい、さらに水の事故防止を目的に開催されているもの。

参加したのは市内小学生9人。

周辺のごみ拾いをを行った後、「水辺

の安全教室」を実施。

プールに入り2人1組で背浮きの練習や、ペットボトルで体を浮かせる浮遊体験、ライフジャケットの装着方法などを学び、その後、カヌーの体験試乗会を実施。

参加者は水に触れ、戯れながら感覚を磨いて、楽しく学んでいました。



芦別市保健福祉施設で長寿のお祝い、「すばる会」



社会福祉法人芦別市社会福祉事業団（荻原理事長）が運営する芦別市保健福祉施設すばるが、9月12日に「すばる会」を開催しました。

これは、同施設入所者の長寿を祝うために毎年行われているもので、今年で23回目。今年の対象者は60歳、77歳、80歳、88歳、90歳、

99歳、100歳以上の20人で最高齢は101歳の2人。

荻原市長より「多くの方々にご長寿をお元気に迎えただけの事を誇りに思います」と、お祝いの言葉が述べられた後、表彰状と思い出の写真などを収めたフォトブックが記念品として贈られました。

交通事故根絶、誓い新たに市民決起大会

9月21日から30日の10日間で実施される秋の全国交通安全運動に先立ち、「秋の全国交通安全運動芦別市民決起大会」が、芦別市交通安全対策本部の主催により総合福祉センターで行われました。

新型コロナウイルスへの感染対策で間引かれた椅子の置かれた会場に

芦別警察署や自治体、関係団体の他、市民など約50人が集まりました。

主催者を代表し、荻原本部長が「市民一丸となって交通ルール厳守と正しい交通マナーの実践をしていくことが何より重要」と事故防止を呼び掛け、参加者と交通安全と事故根絶への決意を新たにしました。

